

4年ぶり開催で大盛況!子どもから大人 まで福祉に触れ合う「きたもと福祉まつり」

11月26日、きたもと福祉まつり実行委員会・北本市社会福祉 協議会主催「第39回きたもと福祉まつり」が開催されました。コ ロナ禍を経て4年ぶりの開催となった今年は、会場を総合福祉セ ンターから市役所に移し、文化センター・児童館と協力しての開 催となりました。

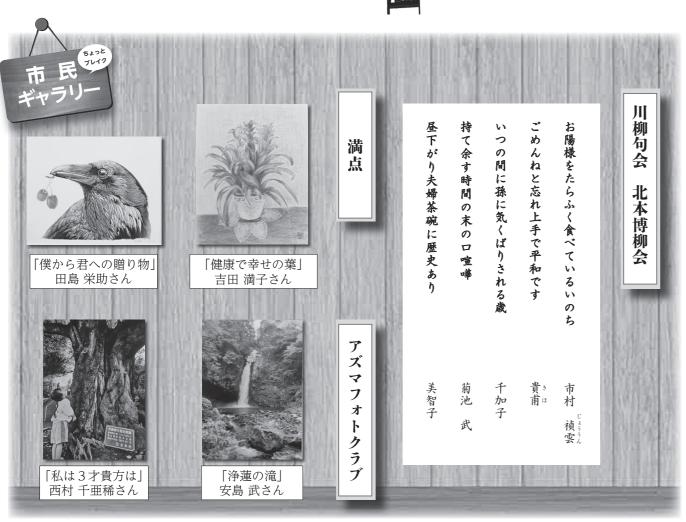
当日は寒さに加え、小雨もぱらつくあいにくの天気でしたが、 北本太鼓かばざくらと北本市民吹奏楽団の演奏で幕を開け、華 やかな衣装のフラダンスショーやバルーンアートショーなどのパ フォーマンスがまつりを盛り上げていました。

三線の沖縄音楽の演奏では、メンバーとお揃いの民族衣装に身 を包んだ北本トマトイメージキャラクター「とまちゃん」も登 場!オレンジ色の衣装がとても似合っていました。

会場では、電動ベッド等の福祉機器や福祉車両の展示、障がい 者団体や福祉施設等によるマッサージコーナーや手作り品の販 売、子ども向けワークショップや縁日、キッチンカー等、市内で 活動している団体や民間企業、飲食店を中心に30を超える出店 があり、事故もなく、大盛況のうちに幕を閉じました。

お子さんから高齢の人まで多くの皆さんが来場し、福祉に触 れ、関心を持つきっかけになるような1日となりました。





北本市で初となる「企業版ふるさと納税」 による寄附をいただきました

12月5日、株式会社サイオー様より企業版ふるさと納税に よる寄附 100 万円をいただきました。北本市が企業版ふるさ と納税による寄附をいただくのは初めてです。

株式会社サイオー様は、北本市体育センターの指定管理業務 のほか、市での様々な活動に携わっていただいています。

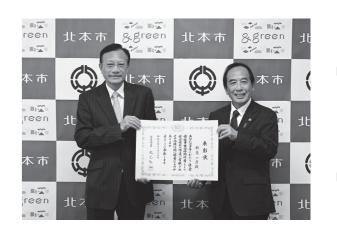
いただいた寄附金は、体育センターのトイレ改修に活用させ ていただきます。



社会福祉功労者厚生労働大臣表彰を受賞

12月14日、社会福祉法人新啓会の新島一彦さんが長年の社 会福祉事業への貢献が認められ、厚生労働大臣表彰を受賞した ことから、市長を表敬訪問しました。

市長から新島さんへ、長年の保育環境の充実や地域の乳幼児 福祉向上に献身的な取り組まれてきたことについて、あらため て感謝を申し上げました。



大谷翔平選手から寄贈されたグローブを 子どもたちに披露!

1月9日、MLBロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平選手 から寄贈されたグローブが、市内小学校の始業式後に児童へ披 露されました。「野球を楽しんでもらいたい」という大谷選手 の想いを大切にし、学校の状況に応じて活用していきます。子 どもたちが寄贈されたグローブを通じて野球に触れることで、 運動を「する人」「見る人」「支える人」の輪を広げ、運動(ス ポーツ活動)に親しみ、心身の健康を保持増進し、豊かなスポー ツライフを送ることができるよう支援していきます。



新春のご利益を見つける、 北本七福神めぐり

1月13日、穏やかな冬の青空のなか高尾氷川神社(恵比寿・ 大黒天) や荒井の須賀神社 (寿老人) などの各所で、新春七福 神めぐりが行われました。須賀神社では、名物となっている全 長2.15メートルの日本一大きな「おみくじ」も登場!子ども たちを喜ばせました。

市内外からの多くの参加者でにぎわい、7か所すべてをまわっ た人には記念品の手ぬぐいが配られました。



2024年2月1日発行